

備前市施策評価シート

(平成21年度事業)

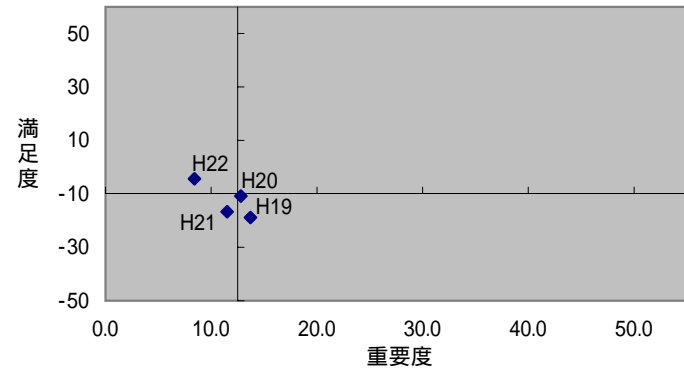
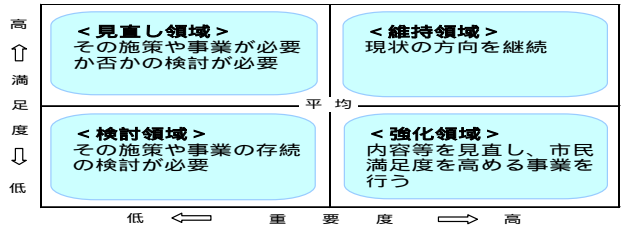
施策名 (小項目)	海岸整備	コード	作成者	役職	農林水産課長
		01-03-03	作成者	氏名	横山雅一
				電話	0869-64-1831
				このシート作成に要した時間	3.0 時間

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	災害に強いまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	海岸保全区域内の住民、農地所有者のため、津波、高潮、波浪その他海水又は地盤の変動による被害から住居、農地等を保全する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	未改修部分において、台風による集中豪雨や高潮及び波浪等による被害が懸念されるため、緊急性の高い区域は、保全区域に指定し、補強改修等を県に強く要望し、整備促進を図る。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 未整備箇所早期完成と高潮対策工事及び局部改良事業の促進を県に要望する。 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	13.7	12.8	11.5	8.4
満足度(%)	-18.8	-10.8	-16.7	-4.4



調査結果に対するコメント、市民の反応等	台風時における高潮等の被害を懸念し、施設に対する関心が高く整備に対して満足度が低いため、整備要望が多いが重要度、満足度共に低くなっている。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H19	H20	H21		H22	
成果指標 堤防の補修	目標	m	116.1	20.0	35.2	H22	55.6
	実績	m	96.1	19.7	77.8	H23	設定なし
	達成率	%	82.8	98.5	221.0	H28	設定なし
	ベンチマーク					-	-
参考指標	目標					H22	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-
参考指標	目標					H22	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-
参考指標	目標					H22	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高-低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への 貢献度	経費の 性質 義務的 経常的 その他	
				平成19年度			平成20年度			平成21年度					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1	海岸施設管理事業	B	県営農林海岸施設整備事業	補助	4,975	282	0.04	2,094	563	0.07	8,117	384	0.04		その他
			海岸施設管理委託事業	単市	170	0	0.00	170	0	0.00	170	55	0.01		その他
2	海岸整備事業	C	県への要望事務(備前)	内部管理	0	440	0.05	0	0	0.00	0	107	0.01		人件費のみ
			海岸安全施設整備事業	内部管理	0		0.01	0	0	0.00	0		0.00		人件費のみ
				この施策に費やした資源(単位:千円,人)											
				平成19年度			平成20年度			平成21年度					
				5,145	722	0.10	2,264	563	0.07	8,287	546	0.06			

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
県土木部	海岸整備事業(管理移管)	農地の減少により、農林海岸としての機能が薄れつつあるため、建設部門への管理移管を検討する必要がある。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
<成果指標の妥当性> 1 施策の目的・成果を表現しているか?	3	県営事業での施行のため、県に対して毎年要望を行っており、妥当と考えます。	
<事業構成の適当性> 2 手段は最適か?	3	県管理施設のため、県が事業主体で実施することは適当と考えます。	
<施策の有効性> 3 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	異常気象による災害が想定される今日、住民の不安は大きく、早期に整備することは有効と考えます。	
本年度(H22年度)取組内容 (課題解決状況)		中山間地域等生活・交流基盤整備推進事業で鶴海海岸を55.6m整備する。また、例年通り穂浪海岸の草刈を行う。	
翌年度(H23年度)取組目標		改良はH22で終了予定。補修等が必要に応じて、岡山県に要望していくこと。また、引き続き穂浪海岸の草刈を行うこと。	
二次評価者コメント		県管理の施設であり、引続き高潮対策を重点にした計画的かつ効率的な海岸整備ができるように要望してください。	
役職 産業部長 氏名 竹林 幸一		基本施策への 貢献度 4 やや高い	